

定例記者会見（令和4年3月28日（月）12：00）会見場所：市政記者クラブ

1. 『下関の世界一を届けるほっちゃ！せきまるフレーム切手』 の発行について

（総合政策広報戦略課）

本日の定例記者会見は、総合政策部、建設部及び観光スポーツ文化部から計6件のお知らせになります。

まず1件目は、総合政策部より、『下関の世界一を届けるほっちゃ！せきまるフレーム切手』の発行について発表させていただきます。

昨年「あなたが思う下関のここが世界一！」をテーマに募集しました市内の写真を元にデザインした、「せきまるフレーム切手」がこの度、完成いたしました。

3月31日より市内の郵便局の窓口で、販売を開始いたします。4月5日からは郵便局のネットショップでも販売いたします。

年齢や住所、プロ・アマを問わずに寄せられた下関市内の魅力的な風景や建物の切手で、下関の魅力を全国に発信していただきたいと思いますと考えております。

2. しもまちアプリで道路の異状を通報できるようになりました

(建設部道路河川管理課)

続きまして2件目は、建設部より、「しもまちアプリを活用した道路異状通報システムの開始について」お知らせいたします。

市民の皆様が、道路の陥没や舗装の剥離などの異状を発見した際に、しもまちアプリ内の「道路異状通報」ボタンから、写真と位置を送信していただくことで、市道路管理者へ、手軽に・いつでも・正確に、通報できるようになりました。

このシステムの開始により、より早く道路の異状を発見し、速やかな対応ができ、事故の未然防止や、安心安全な道路の維持にもつながるものでございます。

なお、令和4年4月1日から利用できるようになりますので、積極的なご活用をお願いしたいと思います。

3. 道路施設等の管理に係る支援活動の表彰についてのお知らせ

(建設部道路河川管理課)

続きまして3件目は、同じく建設部より、道路や河川施設の保全・管理を支援する活動を行った、個人や団体に対する表彰制度を新たに創設しましたのでお知らせいたします。

この制度は、令和4年4月から、日々の活動により環境美化に功績のあった方々に感謝の気持ちを示し、表彰させていただくものです。

表彰の対象は、建設部が管理する道路や河川施設において、①施設の清掃、除草、剪定活動を行っている、②施設の補修などを行っている、③寄付・寄贈を行っている、これら3項目のうちのいずれかに該当する個人または団体を対象とし、年1回表彰いたします。

令和4年度は、表彰推薦の受付を夏頃から行い、表彰の時期は秋頃を予定しております。

4. アウトドアスポーツによる地域活性化事業 アウトドアWebサイト「動くなら下関」のオープンについて

(観光スポーツ文化部スポーツ振興課)

続きまして、ここからは全て観光スポーツ文化部の関係となりますが、4件目は、アウトドアスポーツによる地域活性化事業についてお知らせいたします。

昨今、コロナ禍により、アウトドアへの関心は非常に高まっており、こうしたアウトドアツーリズムは、滞在時間の延長や交流人口の増加など、地域に様々な好影響を与えるものと考えられております。

一方で、本市には海・山・湖など、恵まれた環境や自然資源が数多くあるものの、アウトドアスポーツによる着地型観光メニューを一体的に発信する仕組みはなく、アウトドアスポーツの認知度は決して高いものではありません。

こうした課題を解決するため、地方創生推進交付金を活用した3ヶ年の事業として、本市におけるアウトドアスポーツのブランディングを行い、認知度や魅力度の向上を図る事業を実施しております。

令和3年度につきましては、本事業の趣旨にご賛同いただいた事業者によるプロジェクトチームを結成し、PRのためのキャッチフレーズやアクティビティプランの作成など、構築作業に取り組んでまいりました。

その成果の一つとしまして、本日から公開いたしますWebサイトの内容について、少しご案内をさせていただきます。キャッチコピーには、アクティビティの意味である「活動」から、アクティビティするなら下関といった意味合いや、人や感情の動き出しに訴えかけるフレーズとして「動くなら下関」を採用しております。

サイトの構成も、単に施設や事業者を紹介するのではなく、アクティビティを中心に、モデルを起用した写真中心の体験記事などを紹介し、閲覧者に興味関心を持たせる工夫もしております。

素晴らしいウェブサイトが完成しましたが、これでこの事業が完了というわけではなく、次のフェーズとして、プロジェクトチームメンバーを中心にSNS、特にインスタグラムを活用した情報発信を行い、本市アウトドアブランドの浸透や定着を図ってまいります。記者クラブの皆様もぜひ体験していただき、情報発信にご協力いただけると幸いです。

5. 令和4年 しものせき海峡まつりの開催内容について

(観光スポーツ文化部観光政策課)

続きまして5件目は、「しものせき海峡まつり」についてお知らせいたします。

下関市の初夏の風物詩として親しまれている「しものせき海峡まつり」について、本年は3年ぶりの集客イベントの開催となります。

姉妹都市ひろばを会場に感染対策を講じた上で、ステージイベントや食の催しものを実施することとなりましたのでお知らせいたします。

なお、先帝祭「上臈道中」「上臈参拝」をはじめ、源平まつり「武者行列」「源平船合戦(海上パレード)」、「八丁浜総踊り」、「巖流島フェスティバル」、「安徳帝正装参拝」は、沿道や会場での観客の密集を回避できないとの判断により、実施を見送ります。

本日は、しものせき海峡まつり実行委員会の中尾実行委員長が同席されておりますので、詳細をご説明していただきます。

(中尾実行委員長による説明)

6. 2022年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」トークライブin下関の開催について

(観光スポーツ文化部観光政策課)

最後になります6件目は、2022年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」トークイベントの開催と参加者の募集についてアナウンスをさせていただきます。

平家ゆかりの地である下関において、ドラマの放送を契機に、歴史的資源を活かしたまちづくりの機運を醸成するとともに、広く全国へ本市の歴史的魅力を発信することで、交流人口の拡大による地域の活性化につなげたいと考えています。

本イベントには、「鎌倉殿の13人」で平清盛を演じられる松平健さんをお招きする予定です。今作で清盛を演じられる松平さんは、今までにも多くの大河ドラマ作品に出演されていますが、2005年に放送された「義経」では壇ノ浦の戦いに参加した武蔵坊弁慶を演じられました。源平双方の重要人物を演じてこられた松平さんには、見どころや役作りなど大河ドラマならではのエピソードとともに、平家ゆかりの地・下関への思いなどをお話しいただけるものと非常に楽しみにしているところです。

海峡と歴史のまち・下関市といたしましては、本イベントを新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ観光需要の回復の足掛かりと位置づけ、今後の飛躍へとつなげていきたいと考えております。

(本日の記者会見は、以上でございます。)